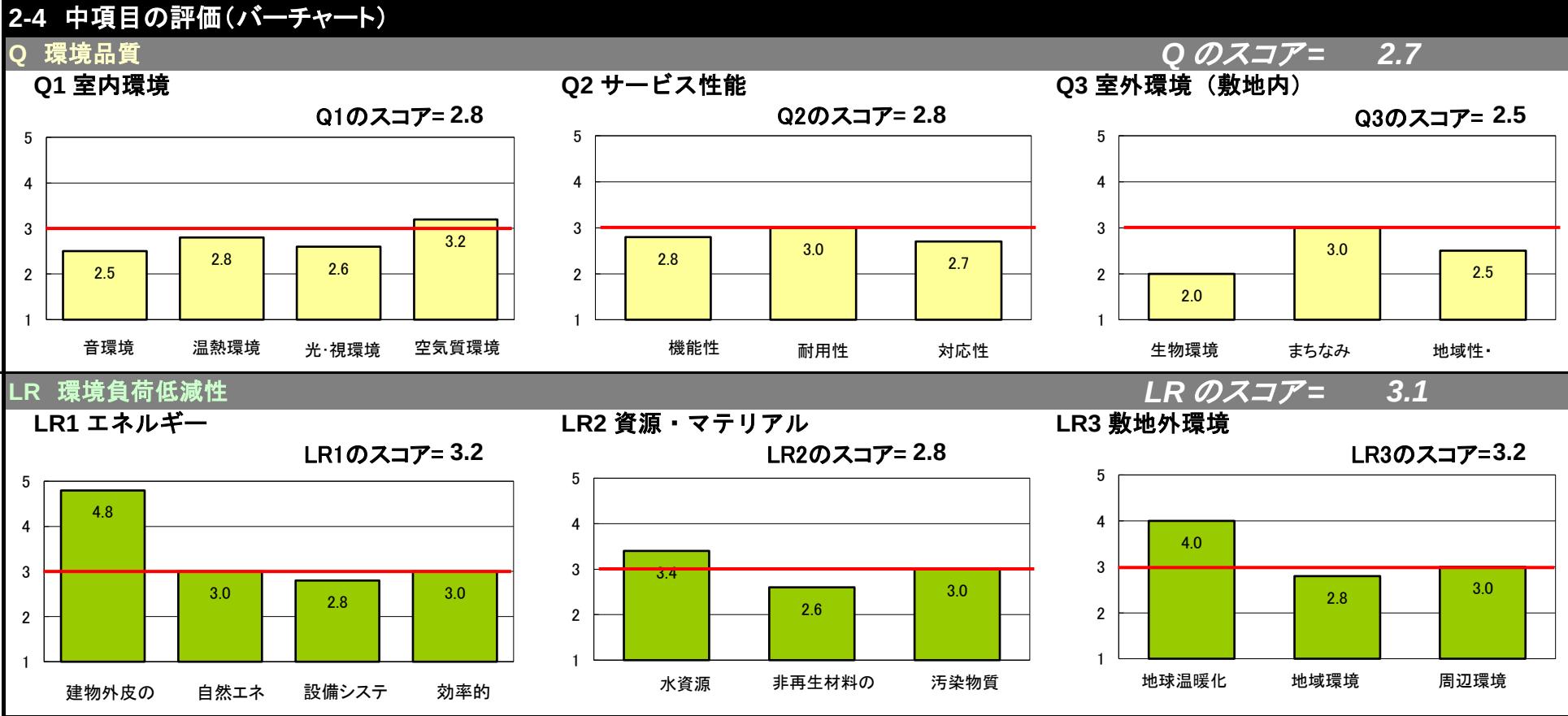
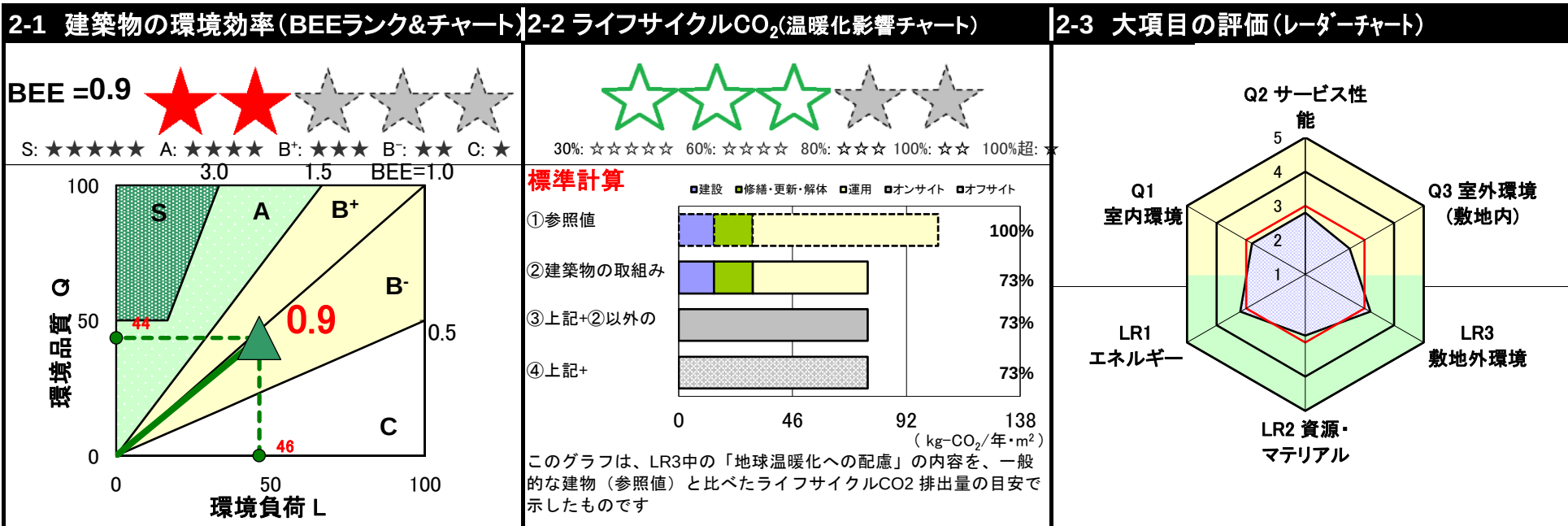


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	池上通信機株式会社システムセンター南館 新築工事	階数	地上3F、地下0階
建設地	藤沢市高谷字前河内117番ほか2筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域・法第22条地域	平均居住人員	100 人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年11月6日
敷地面積	1,822 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱南関東支社南関東建築設計部
建築面積	1,065 m ²	確認日	2024年11月6日
延床面積	3,056 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱南関東支社南関東建築設計部



3 設計上の配慮事項		
総合	JR東海道線藤沢駅から徒歩20分の工業専用地域に、作業場併用の自社事務所ビルをS造、3F建にて計画した。	その他
Q1 室内環境	自然換気有効開口面積が居室面積の1/15以上	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	—	Q3 室外環境(敷地内)
LR2 資源・マテリアル	自動水栓に加えて、節水型便器を採用。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される